



白川小だより

学校の教育目標

ひとりだち

すすんで (自立)
なかよく (共生)
みんなのために (貢献)

平成28年9月30日 (金)

心一つに 白川郷学園 体育大会「破 (やぶる)」

白川郷学園白川小学校 校長 下出 尚弘

9月10日(土)に実施した白川郷学園体育大会、保護者の皆様、村民の皆様には、あたたかい声援をいただきました。また、民謡踊りでは、鳩谷の民謡保存会の皆様にお世話になりました。皆様のご理解ご支援のもと、本年度の体育大会を無事やりぬくことができました。誠にありがとうございました。

「破 (やぶる)」のスローガンのもと、子どもたちは、競技に、応援に、係の仕事に本当によく頑張りました。開会式での小中の団長4名の魂のこもった選手宣誓から、感動の連続でした。保育園児のダンスに小中学生全員が入って踊る姿に、「保小中の一体感を感じてうれしかったよ。」と、村民の方からお言葉をいただきました。地域のみなさんと踊った民謡「こだいじん」も年々その輪が大きくなっています。

本番だけでなく取り組みの段階から、小学校低学年の子どもたちが、中・高学年や中学生の先輩の励ましを受け、暑さにも負けずに大きな声を出して応援する姿、姿勢を正して話を聴く姿に感心しました。様々な場面で日に日に子どもたちが心身ともにたくましく成長していく姿にふれ、頼もしく思いました。特に、6年生の12名は、この体育大会を通じて小学校最高学年としての自覚を高め、大きく成長しました。

白川郷学園の子どもたちが、最後まで全力で競技に挑む姿、小中が一緒になって仲間の頑張りを心の底から応援する姿、係の仕事に責任をもってきびきびと取り組む姿は、まさに学園の教育目標「ひとりだち 自立・共生・貢献」で目指している姿であったと思います。

今回の体育大会の取り組みを通じて身に付けた「苦しくても歯を食いしばって、勇気をもって立ち向かい、自分の殻を破ろうとする強い気持ち」を、これからの生活の中でも持ち続け、「ひとりだち」に向けた日々の地道な歩みにつなげていくようにしていきます。

最後に、小学生、中学生、そして保育園児や保護者・村民の皆様と、心を一つに一緒になって創り上げた「白川郷学園体育大会 (本年度より名称変更)」、その歴史的な素晴らしい一日を共に過ごせたことに感謝。もう一つ、好天に恵まれたことに感謝。



9月より「白川郷学園ホームページ」のTOPICS (トピックス) で、白川郷学園の日々の様子、新しい情報をお伝えしています。是非、ご覧ください。白川村の皆さんはもちろんのこと、村外のみなさんにも紹介していただくとありがたいです。よろしくお願ひ致します。検索「白川郷学園」で見られます。http://school.shirakawa-go.org/